613-000138 Rev.J 090327

最初にお読みください

CentreCOM® AR550S リリースノート

この度は、CentreCOM AR550S をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M0710-00 Rev.B）とコマンドリファレンス（J613-M0710-03 Rev.D）の補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ファームウェアバージョン　2.9.1-19

2　重要：バージョンアップ時の注意事項

本製品を正常にご利用いただくために、最新のブートファームウェアへのアップデートを行ってください。

○　本製品の最新ブートファームウェアは、弊社 Web ページに掲載されています。

○　ブートファームウェアのバージョンアップ方法の詳細は、「AR ルーター ブートファームウェア更新手順書」（弊社 Web ページに掲載）を参照してください。

○　ご使用いただいている本体のブートファームウェアは、SHOW SYSTEM コマンド実行時に表示される「Boot Image」の欄で確認できます。

以前のバージョンから、ソフトウェアバージョン 2.9.1-19 にバージョンアップするときは、以下の点にご注意ください。

○　セットアップツールによるバージョンアップ完了後、コンソールからログインして、以下のコマンドを実行してください。

```
set install=pref gui=5529119j.rsc
```

3　本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.9.1-17 から 2.9.1-19 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

3.1　PPP 機能（クライアント機能および Access Concentrator 機能）を複数のインターフェースで使用した場合、自身が保持していないセッション ID の PPP パケットを受信しても正常に PADT パケットを送信できませんでしたが、これを修正しました。

4　本バージョンでの制限事項・注意事項

ファームウェアバージョン 2.9.1-19 には、以下の制限事項や注意事項があります。

4.1　グラフィカル・ユーザー・インターフェース（Web GUI）

参照「取扱説明書」/「付録」/「Web GUI」

○　GUI 画面ではマルチバイト文字を入力しないでください。入力してもエラーメッセージは表示されませんのでご注意ください。

○　GUI 画面では LAN 側インターフェース（vlan1）の IP アドレスを異なるサブネットの IP アドレスに変更しないでください。変更すると GUI に再接続できなくなることがあります。接続できなくなったときは、ルーターを再起動して変更前の IP アドレスに接続しなおすか、約 10 分待ってから変更後の IP アドレスに接続しなおしてください。

○　「クイックスタート」→「WAN」画面の「DNS リレーを使用する」にチェックを付けたときは、DNS サーバーのアドレスも入力してください。アドレスが未入力でもエラーメッセージは表示されませんのでご注意ください。

○　「クイックスタート」→「WAN」画面で PPPoE 接続の設定をすると、PPPoE インターフェースのリンク状態監視方式が「LQR」（Link Quality Reporting）になります。この設定では、インターネットサービスプロバイダー（ISP）側の機器が LQR をサポートしていない場合にリンクダウンを検出できず、PPPoE の自動再接続機能が働きませんので、「設定」→「レイヤー 2」→「PPP」画面で「リンク状態の監視」方式を「Echo」（LCP Echo）に変更してください。

4.2　ADD DHCP6 POLICY コマンド

参照「コマンドリファレンス」/「DHCPv6 サーバー」

「ADD DHCP6 POLICY」コマンドで DHCPv6 サーバーの設定を変更しても、サーバーから Reconfigure メッセージが送信されません。「ADD DHCP6 POLICY」コマンドの実行後、さらに「SET DHCP6 POLICY」コマンドを実行してください。これにより、Reconfigure メッセージが送信されます。

4.3　ADD DHCP6 KEY コマンド

参照「コマンドリファレンス」/「DHCPv6 サーバー」

DHCPv6 サーバーで認証機能を使用した場合、「ADD DHCP6 KEY」コマンドの「STRICT」パラメーターが動作しません。

5　取扱説明書・コマンドリファレンスの補足

取扱説明書およびコマンドリファレンスの補足事項です。

5.1　STATUS LED

参照「取扱説明書」19 ページ

本製品の STATUS（SYSTEM）LED には、以下の状態も含まれます。

LED	色	状態	表示の内容
SYSTEM	橙	短い 3 回点滅の繰り返し	内部電源ユニットに異常が発生しています。

5.2　VLAN 数の制限

参照「コマンドリファレンス」/「VLAN」

34 番目と 37 番目に設定した VLAN が正常に動作しません。このため、デフォルト VLAN を含めたサポート VLAN 数は 32 となります。

5.3　ADD FIREWALL POLICY NAT コマンド

参照「コマンドリファレンス」/「ファイアウォール」

ADD FIREWALL POLICY NAT コマンドの NAT パラメーターについての補足事項です。

Port Restricted Cone NAT 使用時、CREATE CONFIG コマンドを実行した場合は、ADD FIREWALL POLICY NAT 行の最後に「GBLIP=WAN 側 IP アドレス」が追加されます。
WAN 側 IP アドレスが固定 IP アドレスでない場合は、この状態で再起動するとエラーが発生しますので、CREATE CONFIG コマンドを実行した後に、EDIT コマンドで「GBLIP=WAN 側 IP アドレス」を削除してください。

6　取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書（J613-M0710-00 Rev.B）とコマンドリファレンス（J613-M0710-03 Rev.D）は弊社ホームページに掲載されています。
本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M0710-03 Rev.D」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

http://www.allied-telesis.co.jp/